

若戸大橋ライトアップ施設整備計画について

1. 目的

- ・新たな夜景観光スポットの創出により、夜景観賞クルーズなど本市の夜型観光の魅力を高め、観光客の滞在時間や宿泊の増加を図る。
- ・間近でライトアップを眺望できる若松・戸畑両岸の施設・店舗等の集客力を向上し、市街地の活性化に寄与する。
- ・当時、東洋一のつり橋として、本市の五市合併と同時期に住民の大きな期待を担って完成した若戸大橋を美しくライトアップすることで、市民から愛されるシンボルとしての価値を高め、シビック・プライドの醸成につなげる。

2. 整備計画の概要

(1) コンセプト

「未来を照らし繋ぐあかり 紅く燃えるトーチ」をテーマに、両主塔をトーチに見立て、若戸大橋の印象的な朱色に合わせた光で照らし上げる。また、近景からは、浮かび上がる橋桁のトラス構造[※]が力強さと繊細さを感じさせ、街と街、人と人とのつながりを意識させるようなライトアップとする。

(2) 施設概要

専用のLED投光器を設置して、両主塔、主塔付近の橋桁のトラス構造[※]等を朱色にライトアップする。また、これらが洞海湾に映り込むことが、幻想的な光景を創出し、北九州市を見守る新たなシンボルとなる。

ライトアップ設備の電源は別系統とし、電気事故などが発生した場合、道路照明など他の電気設備に及ぼす影響を最小限とする。

※トラス構造：複数の三角形を組み合わせた、軽量で変形に強い骨組構造。
大規模なタワーや橋梁などに多く採用されている。

3. 整備スケジュール(含予定)

- 平成 28 年度： 8 月～ 試験点灯（市内眺望スポット等からの見え方等を確認）
 1 月～ 基本計画
- 平成 29 年度： 4 月～ 試験点灯（赤色 LED 色味検証用）及び実施設計
 8 月～ 第 1 期整備（電源・幹線設備整備等）
- 平成 30 年度： 4 月～ 第 2 期整備（照明器具製作・取付等）
 平成 30 年 12 月頃 点灯開始

4. ライトアップを活用した観光振興・地域振興について

(1) 観光振興

ライトアップされた若戸大橋を新たな夜景観光のシンボル施設とし、「工場」以外の夜景や飲食を組み合わせた夜景観賞定期・貸切クルーズの就航・増便につなげる。

また、夜景観賞と他の観光資源を組み合わせた周遊観光を促進し、本市を夜まで長時間楽しめる観光地とすることにより、飲食や宿泊等の観光消費額の増加につなげる。

このため、平成 29 年度は、夜景観賞ファムツアーや市場調査等を行い、若戸大橋ライトアップを活用したマーケティング戦略を検討する。平成 30 年度は、夜景を組み合わせた周遊観光に関する情報発信を行うとともに、旅行社や若戸渡船を始めとするクルーズ船運航業者に商品造成の働きかけを行う。

(2) 若松・戸畑エリアの振興

若松・戸畑エリアでは、平成 30 年末に予定されている若戸大橋・トンネル通行料の無料化や、響灘地区へのクルーズ船寄港に伴う外国人観光客の増加などを見据え、新たなまちづくりの機運が盛り上がりつつある。

特に若松エリアでは、若手店主が中心となったクロス乾杯によるギネス世界記録への挑戦や、「リノベーションまちづくり」によるエリアの再生に取り組む団体による店舗等の開業など、活発な取組みが進んでいる。市としても、まちづくりに情熱を傾ける市民に寄り添い、引き続き積極的な支援を行う。

連絡先：産業経済局 観光にぎわい部 観光課 宮崎、泊（551-8150）